

《先輩からのメッセージ》令和6年度卒業生

1 進 学 編

「好きなことを夢に」

岐阜聖徳学園大学

私は、岐阜聖徳学園大学に総合型選抜 Yawaragi 方式で受験し、合格しました。

私は進路を決定するのに、たくさんの時間悩みました。特に将来の夢ありませんでした。ただ、唯一得意で好きなことがありました。外国語です。小学校入学前から英会話教室に通い、方法を変えながら今まで勉強を続けてきました。中学2年生の頃から、韓国語の勉強も続けています。そんな外国語をもっと広く、深く学びたい。そこで見つけたのが聖徳学園大学の人文学部・英語英米文化専攻でした。日本語禁止の部屋や、格安で参加可能な留学など、他の学校にはない魅力がありました。3年生になってから、この学校を受験することに決めました。

受験方法は、自分の得意な英語スピーチのある総合型選抜 Yawaragi 方式を選びました。試験内容は英語自己 PR スピーチとグループディスカッションでした。英語のスピーチは、学校の英語科の先生、ALT の先生に協力していただきました。文章の作成からスピーチのジェスチャーまで、たくさんのことを教えていただきました。家での練習もたくさん行いました。グループディスカッションについては、練習はできませんでしたが、対策動画などを YouTube 等で調べました。試験当日は、たくさん練習を重ねた成果なのか、自分のできる最高のパフォーマンスができました。約二週間後の合格発表。試験の時よりも緊張しましたが、無事合格することができました。

将来に悩んでいる人がいたら、自分の得意なことや好きなことで考えてみるのはどうでしょうか。あなたの素敵な夢が見つかったら、実現できるよう工夫して努力してください。応援しています。

「合格するまでに」

東海学院大学

私は、将来特別支援学校の先生になりたいと思っています。そのため、その資格を取得することができる大学のオープンキャンパスにいくつか参加し、大学内の施設を見たり、実際に大学に通っている人と話したりして、大学の雰囲気などを聞き、東海学院大学に進学することに決めました。

私は、1年生のときから指定校推薦で大学に進学したいと思っていたので、一年生から勉強を頑張ってきました。ですが、もともと勉強は苦手だったので、わからないところをわからないままにするのではなく、友達や先生に聞くようにしてきました。そのおかげで、テストではよい点数を取ることができ、成績もよい数字をいただくことができました。勉強面のほかにも、部活動にも力を入れて取り組んできました。また、なるべく学校を休まないように気を付けてきました。

東海学院大学の指定校推薦は、面接と口頭試問だったので、面接と口頭試問の対策をしてきました。過去に東海学院大学に進学した先輩が実際に試験当日に面接で聞かれた質問はすぐに答えられるように何度も練習してきました。また、学校でやる面接練習前には友達などと練習をやりあって、自信をもって取り組めるようにしてきました。

試験当日は、志望動機、3年間で頑張ってきたことや苦勞したこと、大学に入ってから部活動を続けるのかなどが訊かれました。

また、地元の特色など、予想をしていなかった質問もありました。ですが、落ち着いて答えることができたと思います。本番は、とても緊張しますが、焦らず答えることが大切だと思います。

「進路選択と向き合った自分」

中部学院大学 短期大学部

私が進路を決定したのは3年生の8月末です。それまでの私は、将来の夢がないうえ、やりたいことも見つかっていませんでした。そのため、自分はどの学校に進むべきなのか、どの学校を選ぶのが正解なのか、全く分からなかったです。しかし、そんな私が進路を決めることができたのは、オープンキャンパスや、進路の先生方の手助け、友人の言葉でした。

私は志望校を決めるために、さまざまな学校のホームページを見て、オープンキャンパスに行きました。オープンキャンパスでは、説明会や模擬授業に参加するだけでなく、学校の雰囲気や先生方のサポートの手厚さなど、細かい所も見ながら、進学後の自分を想像して考えました。オープンキャンパスに行くたびに、この学校は自分に合っているのか、心からこの学校に行きたいと思えるのか、自分自身と向き合って考えることを大切にしました。

しかし、オープンキャンパスだけでは進路を決めることができず、私は進路指導室に何度も相談に行きました。先生方は私の話を聞いたうえで、合いそうな学校を選別し、それぞれの特徴や学ぶ内容を説明してくださいました。そのおかげで、以前の自分から進路の視野を広げて考えることができました。

さらに、友人に相談したところ、たくさん迷って考えて出した結論は、どんな道でも正解

の道になると言ってくれました。私はこの言葉を聞いて、とても荷が軽くなったのと同時に、正解の答えを考えなくても良いのだと気づくことができました。

私は3年生になるまでずっと、進路選択から逃げていました。しかし、周りの人に助けてもらいながら、たくさん悩んで、たくさん迷ったからこそ、自分が納得する進路を選択することができました。私の進路選択に関わってくれた全ての人に心から感謝しています。

2 就 職 編

「高校で頑張ったこと」

アサヒフォージ株式会社

私は、高校生活では、部活動を頑張りました。部活動では、サッカー部でキャプテンをやっていました。最初はなにをすればいいかわからなくて、チームのみんなもばらばらでうまくいかなかったけれど、先生たちが声をかけてくれて、少しずつチームにまとまりが出始め、やっとキャプテンらしいことができました。そして、普段の練習や試合などもメンバー同士で声を掛け合いながらやっていきました。最後の試合では負けてしまいましたが、とてもいい経験になり、頑張ってきてよかったと思いました。

部活動を引退して、就職先を探すときにどこにするか何も決まっていませんでした。だから、企業説明会に参加し、いろいろな企業の説明を聞きました。そのあとは、学校で求人票やインターネットで調べて考えました。給料や休み、ボーナスを主に調べて考えていました。

それでもいろいろな企業があり、先生に相談してみると、ここはどう？と言われ自分でも調べていいなと思い決めました。就職先を決めてから、応募前職場見学で実際に働いているところや、会社内での雰囲気などを見てきました。見た後に質問はありますかと聞かれたので、試験内容や作文の内容などを聞きました。面接では、練習でも緊張してしまったので、緊張しないために、放課後も先生に頼んで何度も練習しました。

自分の行きたい企業に合格するために、面接では、相手に伝わるようにゆっくり話すことに慣れるためにも、先生や友達にお願いして、たくさん練習をして本番にスムーズに言えるようにしてほしいです。これからでも、遅刻や欠席をしないことや、身だしなみなどに気を付けて学校生活を過ごしてほしいし、勉強も頑張りたいと思います。

「悩みまくった就職先」

ブリヂストンスポーツ 関工場

私は、最初事務系の仕事を探していました。でも、求人票を見ると事務はほとんど求人がなく、私が重要視していた給料が他の会社と比べると安く、納得のいく会社はありませんでした。求人票を事務系に絞らず目を通してみました。給料が高く、仕事内容を覚えれば毎日同じような仕事をする製造業に就職することにしました。

求人票を見るときは、どうしても給料ばかりに目がいきっていますが、給料だけではなく、福利厚生、休憩時間、給料以外に支給される手当、ひと月の残業時間、年間休日数、賞与の有無、労働組合に加入しているなどほかにも重要なものがたくさんあるので、実際に社会に出て働いている親や先生に意見をもらい、それも含めて考えていくことが大切です。

応募前職場見学では、求人票に書いていないことを中心に質問をたくさんしました。気になったことがあれば、その場で質問したほうが実物を見ながら説明してくれるので、本当に自分に合っているか考えることができてよいと思います。

就職試験には面接と適性検査がありました。面接練習では先生のアドバイスをよく聞いてよくない点を直すことに心がけました。適性検査は進路指導室においてあるテキストで学習して臨みました。本番でそのテキストと同じ形式の問題が出ました。

日常生活では、成績やテストの点をよくすることだけでなく、外部の方は身だしなみなども見ているので、日頃からきちんとした身だしなみで生活しているほうがよいと思います。最初からここ！と決めずにいろんな視点で求人票を全部見て納得のいく進路決定をしてください。

「合格した体験記」

株式会社メニコン

私は、メニコンの選考試験に合格したことを本当に嬉しく思っています。メニコンを受けようと思ったきっかけは、親が「メニコンの試験に挑戦してみたら？」と勧めてくれたことでした。私は最初、メニコンって何？と思っていましたが、調べてみると、コンタクトレンズのメーカーで、かなり有名な企業だということを知りました。特に、社会貢献活動にも力を入れていて、環境問題や視力に対する取り組みが素晴らしいと感じました。それが、私がメニコンを受けようと思った一番の理由です。

試験内容は、筆記試験と面接がありました。筆記試験は、計算問題が出て、簡単な計算しか出ませんでしたが間違えないようにできるだけ多くの問題を解かなければいけなかったので大変でした。

面接では、自己紹介や自分が大切だと思っていること、将来の目標について質問されました。本当に緊張しましたが、事前に友達や先生にアドバイスをもらい、何度も練習を重ねたことで、自信を持って臨むことができました。面接官の方々も優しく、緊張がほぐれたのを覚えています。

合格の通知を受け取った時は、今までの努力が報われた気がして、本当に頑張ってよかったと思いました。

合格の秘訣は、「準備」と「自己分析」だと思います。どんな試験でも、事前にしっかり準備することが大事ですし、自分が何をしたいのか、なぜメニコンで働きたいのかをしっかりと考えることも大切です。私の場合は、メニコンが社会に貢献している点に惹かれ、その思いを面接でしっかり伝えられたのが良かったのかなと思います。

これからは、もっと知識を深めて、メニコンでの活躍に向けて一步一步進んでいきたいと思っています。

「合格体験記」

日本郵便 株式会社 東海支社

私は、3年の夏に就職先を決めました。初めは事務関係の仕事に就職出来たらいいなとしか考えておらず、明確な就職先を決められませんでした。そこで私は、ハンディ（本校の求人票データを閲覧できるシステム）で事務関係の求人票を探し、仕事内容や給料、休日、福利厚生などの要項を見比べて自分に合う企業を探しました。そして先生方のサポートも受けながら、ようやく就職先を決めることができました。夏季休暇に応募前職場見学に伺い、実際の仕事の様子を見学し、入社試験の内容についてなど沢山質問をしました。私が希望する日本郵便の窓口コースの就職試験の内容は、適性検査「SHL」と「面接」の2つでした。SHLはマークシート形式で、1つの問題に時間をかけずに、問題を見て直感的に答えるようにしてください。面接は個人面接が30分あり、1つの質問から深堀して質問が来るので、しっかりと受け答えが出来るよう練習を重ねれば大丈夫です。面接は緊張しますが、焦らずゆっくり笑顔を絶やさずに話すよう、心掛けてください。私は自分が就職したい企業を見つけた時に後悔をしないように、普段の学校生活も大切にしました。特に成績や欠席遅刻日数、身だしなみ、授業態度などです。成績が良いほど就職先の幅が広がるし、逆に欠席遅刻日数が多いほど企業側の人も不安になり採用が見送られることもあります。今から自分の学校生活を振り返り、直すべきところは直し、良いところはさらに良くしていくよう頑張ってください。

最後にこれから進路を決める人に伝えたいことは、進路先を適当に決めないでくださいということです。周りとは比べ焦ることもあると思いますが、真剣に悩んでほしいし、何かあれば先生方に相談してください。